

えひめ 土地改良だより

2025.7
Vol.535



みどり
水土里ネット 愛媛
(愛媛県土地改良事業団体連合会)



山林の抱擁、水田の静寂（久万高原町菅生）

CONTENTS

ご挨拶

就任のご挨拶
愛媛県土地改良事業団体連合会 会長 大城 一郎 …… 1

トピックス

「農業農村整備の集い」の開催 …… 2
「えひめ水土里ネット女性の会」令和7年度通常総会を開催 …… 3
令和7年度 都道府県耕地関係課長会議開催 …… 3
農林水産部関係機関長会議開催 …… 4
面河ダムへの感謝と安全祈願式を開催 …… 5
耕友会ソフトボール大会・懇親会 …… 6
第32回農業農村整備事業写真コンテスト受賞作品決定 …… 7
第80回農業農村工学会中国四国支部講演会
ならびに第49回地方講習会の開催 …… 7

取組事業の紹介

「天空の里 高野地地区」で通水開始!! …… 8

水土里ネット情報

令和7年度県土連理事会開催 …… 10
令和7年度愛媛県受益農地管理強化委員会
及び愛媛県管理運営体制強化委員会を開催 …… 11

お知らせ

「愛媛のたなだん」フォトコンテストを開催します! …… 9
ため池管理者のみなさんへ
—ため池の転落事故を防ぎましょう— …… 20
ため池を管理されている方へ …… 20



就任のご挨拶

愛媛県土地改良事業団体連合会
(水土里ネット愛媛)

会長 大城 一郎

酷暑の候、会員の皆様には益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

また、平素から愛媛県土地改良事業団体連合会（水土里ネット愛媛）の運営、活動並びに本県農業農村整備事業の推進に、格別のご理解とご協力を賜り心から厚く御礼申し上げます。

さて、去る6月20日の理事会におきまして、理事の皆様からご推挙いただき、この度会長の重責を担うことになりました。これまで当会を牽引していただきました篠原前会長に衷心から感謝申し上げますとともに、農業・農村が置かれた厳しい情勢の中で、本県農業・農村のさらなる発展を目指す責任の大きさに気が引き締まる思いでございます。今後とも会員並びに職員の皆様とともに、本県農業農村の活性化と土地改良関係団体の更なる発展、並びに本会の円滑な運営に全力で取り組んでまいりますので、引き続きご指導、ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

我が国の農業・農村は、国民が生きていくための食糧を安定的に供給する役割を担っているばかりでなく、頻発する豪雨災害等から住民や国土を守る役割など、多くの機能を兼ね備えています。しかし、中山間地域を多く抱える本県では、農業者の減少や高齢化が急速に進み、荒廃農地が増加するなど、農地や水路の管理が十分に行き届かなくなりつつあります。

このような中、新たな「食料・農業・農村基本計画」には、少ない農業者でも労働力や営農経費を抑え営農の継続を可能とする、スマート農業の導入や担い手のニーズに応える農地の大区画化の推進が盛り込まれるほか、本年4月に施行された「改正土地改良法」では、これまで農地の開発を主な目的としてきた生産基盤の「整備」に加え、初めて「保全」が明確に位置付けられ、人手不足を補うため、施設管理を担う土地改良区に加え市町等関係者が一体となって農地・農業水利施設を「保全」する体制づくりを行う仕組み「連携管理保全計画（通称：水土里ビジョン）」が創設されるなど、人口減少や高齢化が進む中であっても、食料の安全保障を確保する方向性が示されています。

また、6月に閣議決定された「第1次国土強靱化実施中期計画」では、激甚化・頻発化する豪雨災害や南海トラフなど予測される巨大地震への備えとして、「ため池の防災・減災対策」「田んぼダムの取組」や「農業水利施設の耐震化」「農業集落排水施設の更新」などが盛り込まれており、土地改良施設の防災・減災対策も喫緊の課題になっています。

水土里ネット愛媛では、こうした新たな方向性も踏まえつつ、本県の農業農村が抱える課題に力強く対応するため、引き続き農業農村整備事業関連予算の安定確保に努めるとともに、担い手の確保や収益力強化のための基盤整備に加え、土地改良区の運営基盤強化に向けた支援、さらには農村地域を強靱化する防災・減災対策を、県、市町等の関係機関とともに強力に推進してまいりますので、引き続き皆様のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

「農業農村整備の集い」の開催



6月18日、シェーンバッハ・サボー（東京都）において、「農業農村整備の集い～農を守り、地方を創る予算の確保に向けて～」が、全国土地改良事業団体連合会及び都道府県土地改良事業団体連合会の共催で開催され、国会議員を含め約1,200名の土地改良関係者が全国から参集した。

主催者挨拶で二階俊博全土連会長は、「食料安全保障の確保において、農業の構造改革を強力に進める必要がある。目標を達成するため力を結集してほしい」と挨拶し、続いて小泉進次郎農林水産大臣、森山裕自民党幹事長、進藤金日子全土連会長会議顧問が祝辞を述べた。

佐賀県土連の金澤智寿子理事より要請案文が朗読され、全会一致で採択された。最後に、宮崎順子あおもり水土里ネット女性の会会長、浅利郁あおもり水土里ネット青年部会会長らによるガンバロウ三唱で幕を閉じた。



二階俊博 全土連会長



小泉進次郎 農林水産大臣



進藤金日子 全土連会長会議顧問



ガンバロウ三唱

「えひめ水土里ネット女性の会」 令和7年度通常総会を開催

去る5月28日、県土連ビル会議室にて、県内土地改良区関係の女性役職員20名が集まり、「えひめ水土里ネット女性の会」令和7年度通常総会が開催された。

はじめに、土居会長による開会挨拶の後、中国四国農政局の渡部地方参事官、愛媛県農林水産部農業振興局農地整備課の大原技幹に来賓祝辞をいただいた。

総会議事としては、令和6年度活動報告、収支決算、令和7年度活動計画、収支予算についての4議案が協議され、全会一致により承認された。

総会后、昼食を挟み渡部地方参事官による「土地改良法の改正と女性の活躍推進」と題した講演があり、真剣に講義に聞き入っていた。



渡部地方参事官来賓挨拶



大原技幹来賓挨拶

令和7年度 都道府県耕地関係課長会議開催

5月28日、農林水産省農村振興局主催による「令和7年度都道府県耕地関係課長会議」が農林水産省で開催された。

会議には、農村振興局、地方農政局、都道府県の関係者が出席し、前島農村振興局長ら幹部からの挨拶のほか、農村振興局各課から所管事項の説明があり、その後、各都道府県による意見交換が行われた。

前島農村振興局長からは、「昨年改正された食料・農業・農村基本法を踏まえ、令和7年4月に新たな食料・農業・農村基本計画が閣議決定された。基本計画には幅広い施策が位置付けられているが、

農業農村整備は将来の基盤づくりのため、重要施策として着実かつ計画的に推進する必要がある。」「土地改良法の改正を踏まえ、土地改良長期計画の見直しに向けた議論が進んでいる。水土里ビジョンの策定など、地域の農業水利施設の保全、防災対応等に積極的な関与をお願いしたい。」との話があった。

つづいて、青山農村振興局次長から、「土地改良法の改正により、急施の事業を拡充した。担当者の意識変えを促し、再度災害の防止に向けた改良復旧等に取り組んでいただきたい。」「水土里ビジョンについては、補助率のかさ上げ措置もあるので、地域での議論を進めていただきたい。」との話があった。

また、山本審議官から、農村人口が減少する中での観光業との連携の重要性について、神田農村政策部長から、官民共創の必要性や耕作条件改善のための基盤整備の必要性について、石川整備部長から、令和7年度予算の状況と確実な執行について話があった。

各課から所管事項の説明があった後、47都道府県が6つのグループに分かれ、「農業者の減少に対応した基盤整備の在り方について」「現場の実態に即した適正な積算」「地域内の関係者が連携して取り組む農業水利施設の保全」の3つのテーマについて、活発な意見交換が行われた。

農林水産部関係機関長会議開催

4月25日、県庁において農林水産部関係機関長会議が開催された。

全体会議では、久保農林水産部長のあいさつの後、渡部農政企画局長、真木農業振興局長、仙波森林局長、増本水産局長等から、令和7年度重点事項とその対応方針について説明があり、意見交換が行われた。

同会議に先立って、農村整備課長会議が開催され、令和7年度農業農村整備事業の執行等に関する説明や事業推進に当たっての情報提供等を農地整備課から行った後、各地方局（支局）農村整備（第一・第二）課から活発な意見や質問があった。

主な議事項目は、次のとおりである。

- 1 令和7年度予算執行について
- 2 愛媛県農業農村振興対策検討会の活動計画について
- 3 宅地造成及び特定盛土等規制法（盛土規制法）について
- 4 多面的機能支払中国四国シンポジウム in えひめについて



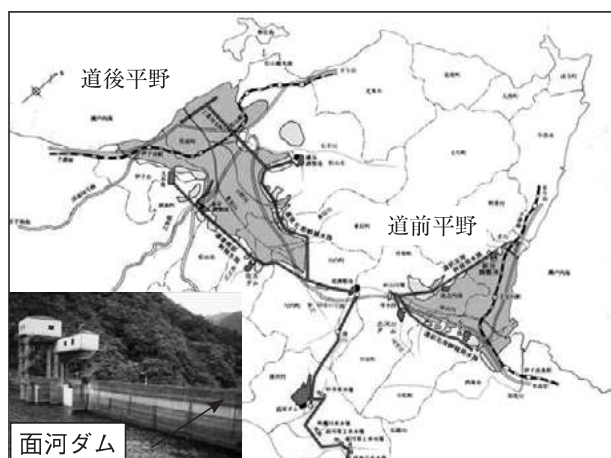
面河ダムへの感謝と安全祈願式を開催

去る5月26日(月)、道前道後土地改良区連合(理事長 加藤 章)の主催により、久万高原町笠方の面河ダムにおいて、ダムへの感謝と安全祈願式が開催されました。

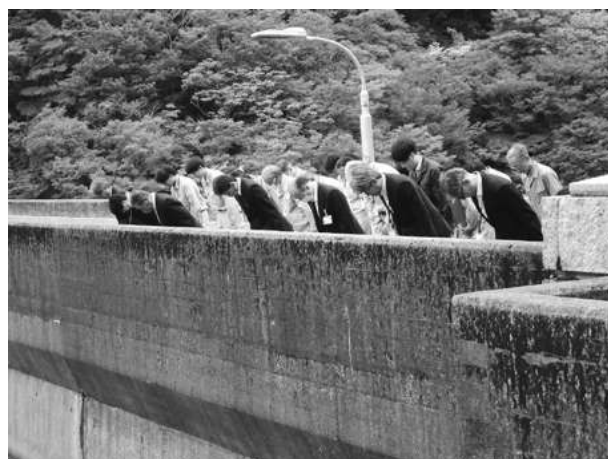
当日は、この季節としては肌寒い曇り空の下、6月6日から始まる農業用水の配水を直接担う道前及び道後平野土地改良区、松山発電工水管理事務所の関係者が、国(中国四国農政局道前道後用水農業水利事業所)、県(公営企業管理局、農地整備課)を招いて、かんがい期間中の安全な通水と秋の豊穡を祈願するとともに、この60年間、変わらず地域に恩恵をもたらしてきた面河ダムや施設建設に携わった先人達、水源地域である久万高原町笠方地域、分水にご理解いただいた高知県への感謝を胸に、代表者によるダムへの献酒等を行いました。

面河ダムは、本来高知県より太平洋に流れ出る仁淀川の水を上流でせき止め、本県の道前平野、道後平野に導いており、自然にもたらされる当たり前の水ではないことを決して忘れず、先人や高知県への感謝とともに将来にしっかり継承していく必要があります。

なお、同連合では、水源地域に感謝する心を後世へ引き継いでいくため、平成15年から、面河ダムクリーンアップ活動として、笠方地域の方々とダム周辺の清掃活動に取り組んでおり、今年は7月26日(土)に実施予定です。皆さん、ぜひこの清掃活動にも参加して、ダム湖畔の爽やかな風を感じながら、一緒に心地よい汗をかきましょう！



面河ダム関係水利施設位置図



感謝と安全祈願式

耕友会ソフトボール大会・懇親会

去る5月31日(土)にウエルピア伊予において耕友会ソフトボール大会が盛大に開催されました。大会当日はそれまでの雨予報が嘘のように晴れ渡り、さわやかな初夏の風を感じられる最高のコンディションとなりました。

開会式では県農地整備課臼坂課長(耕友会会長)の開会挨拶に続き、中予地方局Aチームの濱岡選手による選手宣誓の後、Aグラウンドは愛媛県土地改良事業団体連合会小崎専務理事、Bグラウンドは愛媛大学久米准教授の始球式により、熱戦の火蓋が切って落とされました。

優勝 Aチーム 南予A				優勝 Bチーム 南予B			
Aブロック		Bブロック					
南予A		東予A					
チーム名	AA1 中予A	AA2 県土連	AA3 南予A	チーム名	AB1 東予A	AB2 農地	AB3 愛大
AA1 中予A		×	×	AB1 東予A		○	○
AA2 県土連	○		×	AB2 農地	×		×
AA3 南予A	○	○		AB3 愛大	×	○	
1位	南予A			1位	東予A		
2位	県土連			2位	愛大		
3位	中予A			3位	農地		

チーム名	B1 東予B	B2 南予B	B3 中予B
B1 東予B		×	○
B2 南予B	○		○
B3 中予B	×	×	
1位	南予B		
2位	東予B		
3位	中予B		

いざ試合が開始されると、各チームが白熱したプレーを繰り広げ、職場の仲間や家族の応援を受け、好プレーあり、珍プレーありの笑顔の絶えない一日となりました。

大会結果は、Aチームは、本格派投手を中心に高い総合力を有する南予地方局Aチームが、昨年度優勝の県土連チームを僅差で下すなどの快進撃を見せ、優勝に輝きました。Bチームも南予Bチームが全勝で優勝し、A・Bチームともに南予チームが制覇するという快挙を成し遂げました。また、ソフトボール大会後に催された懇親会では、参加者が互いの健闘を称えあい、和やかなムードのなか親交を深めました。

末筆ながら、大会運営にご協力いただいた皆様、審判員を務めていただいた松山市ソフトボール協会の皆様、そして、愛媛大学をはじめ、参加いただいた皆様に感謝するとともに、また来年、お会いできる日を楽しみに、皆様のご健勝を祈念申し上げます。



臼坂会長による挨拶



始球式の様子



試合の様子



Aチーム優勝 南予A

第32回農業農村整備事業写真コンテスト受賞作品決定

7月11日(金)第32回農業農村整備事業写真コンテスト審査会が行われ、応募のあった作品の中から、コスモス畑で楽しむ園児を写した「コスモス見に来たよ！」(撮影場所：西予市宇和町西山田)が最優秀に選出されたほか、優秀賞2作品、佳作6作品、特別賞1作品が選ばれた。

〈最優秀賞〉	『コスモス見に来たよ!』	藤澤 昂平 氏
〈優 秀 賞〉	『ため池の花筏』	石山 正昭 氏
	『田植えの準備』	井上 雄二 氏
〈佳 作〉	『ひょうたん池ブルー』	矢野 典 氏
	『煉瓦造りの樋門』	村上 義雄 氏
	『棚田の雪化粧』	河野 豊 氏
	『エコエネルギーと景観を作るひまわり畑』	近田 昌樹 氏
	『みんなでじゃがいも掘り』	内海 清文 氏
	『自分で作って食べて』	長岡 利昌 氏
〈特 別 賞〉	『初収穫まじかの「かわち」』	竹田 修 氏

※入賞作品は本号より随時、掲載していきます。

第80回農業農村工学会中国四国支部講演会 ならびに第49回地方講習会の開催

中国四国地方内外の農業農村工学に関わる技術者及び研究者が集まり、日頃の研究成果や現場での施工事例等について発表する「中国四国支部講演会」及び農林水産省から講師を招き、農業農村整備に関わる法令や技術基準等の解説をいただく「地方講習会」が中国四国各県において毎年開催されており、令和7年度は、次のとおり松山市で開催予定となっています。詳細は、農業農村工学会中国四国支部ホームページ (<https://www.jsidre.or.jp/tyugoku/>) に近日掲載予定です。



- 1 開催日時
 - (1) 開会式・支部賞表彰式・支部講演会
令和7年10月23日(木) 10:00~17:00
 - (2) 地方講習会・閉会式
令和7年10月24日(金) 9:00~12:00
- 2 開催場所
松山市総合コミュニティセンター

※写真は前回愛媛県開催時(H28)の様子です。

「天空の里 たかのじ 高野地地区」で通水開始 !!

八幡浜支局農村整備第二課

八幡浜市の北西部、標高100m～400mに位置する高野地地区は、古くから柑橘類を中心に多種多様な果物の栽培が盛んな地域であるが、農業用水は雨水や小川からの取水に頼っていたため、たびたび干ばつ被害に悩まされていた。

この課題を解決するため、平成26年度から県営事業によりパイプライン等の整備を進めていたところ、この度暫定ながら一部区間が完成し、令和7年春から12haの樹園地に通水を開始した。



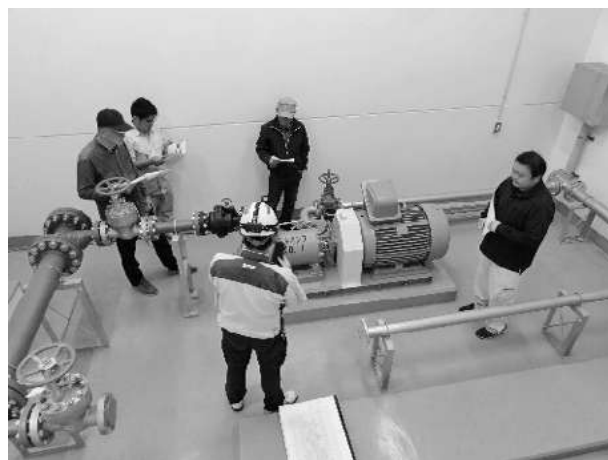
樹園地が広がる様子

事業概要

事業名	水利施設等保全高度化事業	事業概要
事業採択年度	平成26年度	用水路工（パイプライン） 幹線水路2.3km ポンプ施設2箇所 配水槽2箇所 畑地かんがい施設工 56.2ha 給水栓296箇所 給水スタンド4箇所
工事着手年度	平成27年度	
工事完了年度	令和8年度（予定）	
全体事業費	1,004百万円	



給水栓



ポンプ場での地元農家への操作説明

今後さらに整備を進めて、用水の安定供給と農作業の省力化を図ることにより、高品質な果物の安定した生産に加え、マーマレードなどの特産品のさらなる開発、販売促進を展開するなど、地域の一層の活性化や魅力アップが期待されている。



高野地フルーツ倶楽部の皆さん

お知らせ

「愛媛のたなだん」フォトコンテストを開催します！

県内棚田へ訪れるきっかけをつくり、応援して頂ける方との交流を深めるため、「愛媛のたなだん」フォトコンテスト2025を下記のとおり開催します。奮ってご応募ください！

応募期間：令和7年11月10日(月)まで

対象写真：令和6年11月11日(月)以降に撮影した写真

応募方法：「愛媛のたなだん」内の応募フォーム又は

Instagram から応募

応募資格：県内対象棚田を訪れた方どなたでも（プロアマ不問）

賞品：優秀作品には棚田米等各地の農産物をプレゼント

フォトコンテストの対象地域、応募方法など詳細については、下記URLをご確認ください。

URL：https://ehime-tanadan.jp



えひめの棚田・股婚サポーター



(ホームページ)



(公式 X)



(公式 Instagram)

令和7年度県土連理事会開催

6月20日(金)、県土連ビル会議室において令和7年度第1回理事会を開催した。

本理事会では、篠原前会長の退任により空席となっていた会長の互選が行われ、大城一郎副会長(八幡浜市長)が、会長に就任した。また、大城副会長が会長に就任したことに伴い、空席となった副会長の互選が行われ管家一夫理事(西予市長)が副会長に選任されました。

その他、推進協議会委員の補欠選任並びに協議会長の選任など3議案が原案どおり可決された。



令和7年6月20日以降の役員体制

役職名	氏 名	他 の 役 職
会 長	大城 一郎	八幡浜市長、南予用土地改良区連合理事長
副 会 長	高橋 征三	新居浜市上泉川土地改良区理事長、新居浜市洪水土地改良区理事長
副 会 長	武智 邦典	伊予市長
副 会 長	管家 一夫	西予市長
専務理事	小崎 勝次	学識経験者
常務理事	門田 宜也	学識経験者
理 事	高橋 敏明	西条市長、道前平野土地改良区理事長
理 事	世良 親臣	今治市土地改良区理事長
理 事	秀野 隆昭	松山市久保田土地改良区理事長
理 事	加藤 章	東温市長
理 事	河野 忠康	久万高原町長
理 事	二宮 隆久	大洲市長、大洲市土地改良区理事長
理 事	坂本 浩	松野町長、松野町土地改良区理事長
理 事	中村 維伯	愛南町長、大久保山土地改良区理事長
代表監事	志波 豊	城川町魚成土地改良区理事長
監 事	砂田 虎善	今治市蒼社川土地改良区理事長
監 事	大内 建作	伊予郡砥部町土地改良区理事長

令和7年度愛媛県受益農地管理強化委員会 及び愛媛県管理運営体制強化委員会を開催

去る6月27日県土連ビル会議室において、令和7年度愛媛県受益農地管理強化委員会及び愛媛県管理運営体制強化委員会が開催された。

本会専務理事の小崎委員長より挨拶の後、委員長を議長に選任して下記事項の検討を行い、原案のとおり承認された。

(1) 愛媛県受益農地管理強化委員会

第1号議案 愛媛県受益農地管理強化委員会設置規定の制定について

第2号議案 令和6年度土地改良区体制強化事業（受益農地管理強化対策）実績について

第3号議案 令和7年度土地改良区機能強化支援事業（受益農地管理強化対策）実施計画（案）について

(2) 愛媛県管理運営体制強化委員会

第1号議案 愛媛県管理運営体制強化委員会設置規定の制定について

第2号議案 令和6年度土地改良区体制強化事業（施設・財務管理強化対策）実績について

第3号議案 令和7年度土地改良区機能強化支援事業（施設・財務管理強化対策）実施計画（案）について



愛媛県受益農地管理強化委員会



愛媛県管理運営体制強化委員会

お知らせ

ため池管理者のみなさんへ —ため池の転落事故を防ぎましょう—

ため池では、全国で毎年20件前後の転落死亡事故が発生しておりますが、県内においても、ため池への転落事故が毎年発生しています。

県内における近年のため池事故発生状況

	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7*
事故発生件数	2	6	4	1	0
(うち死亡事故)	(2)	(5)	(4)	(1)	(0)

※ R 7は4月～5月の件数



◎ため池で水難事故が発生した場合、管理者に対する法的責任が問われる可能性があります。(民法第717条や国家賠償法第2条の損害賠償責任など)

◎身近なため池について、

- ・進入防止対策はできていますか？また、注意喚起の看板は設置されていますか？
- ・万が一転落した場合の脱出施設等は整備されていますか？

など、地域住民も交えて点検を実施し、ため池の転落死亡事故を防ぎましょう。

◎ため池の安全対策には、国の補助事業が活用できる場合がありますので、詳しくはお住まいの市町、又はため池保全サポートセンター等へご相談ください。

ため池の安全対策を支援する国の補助事業

支援事業名	補助率	主な実施要件
農村地域防災減災事業	50% (55%)	総事業費200万円以上
農業水路等長寿命化・防災減災事業	50% (55%)	総事業費200万円以上、受益者2戸以上
多面的機能支払交付金	定額	活動計画に位置付け
中山間地域等直接支払交付金	定額	集落協定書等へ位置付け

() : 中山間地域等

お知らせ

～ため池を管理されている方へ～

ため池を保全管理するためのご相談を専門スタッフが承ります

毎週月～金曜日

※土日、祝日、年末年始(12月28日～1月3日)を除く

9:00～12:00 / 13:00～17:00

愛媛県ため池保全サポートセンター

〒790-0064

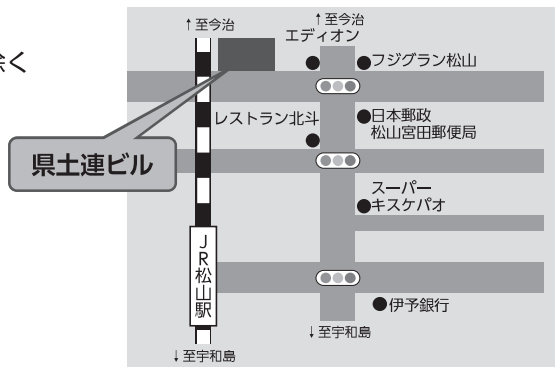
松山市愛光町1-24 (県土連ビル)

愛媛県土地改良事業団体連合会

(水土里ネット愛媛)

TEL: 089-927-7211 FAX: 089-927-7001

E-mail: tameikehozen-sc@ehimedoren.or.jp



- ご相談の際には、ため池の「名称」「所在地」をお知らせください
- 相談にお越しの際は、あらかじめ電話で予約をお願いします
- ため池管理者以外の方は、お住まいの市町担当窓口へご相談ください

第32回 農業農村整備事業 写真コンテスト 入選作品の紹介



最優秀賞「コスモス見に来たよ！」

撮影場所：西予市宇和町西山田

撮影者：藤澤 昂平



佳作「ひょうたん池ブルー」

撮影場所：西条市石田

撮影者：矢野 典



佳作「エコエネルギーと景観を作るひまわり畑」

撮影場所：松前町徳丸

撮影者：近田 昌樹

水土里ネット愛媛



愛媛県土地改良事業団体連合会

本部 松山市愛光町1番24号(県土連ビル)
Tel (089) 927-7000(代表) Fax (089) 927-7001
ホームページ <http://www.ehimedoren.or.jp>

東予事務所 西条市壬生川111番地1
Tel (0898) 76-7255(代表) Fax (0898) 76-7257

南予事務所 西予市宇和町卯之町3丁目434番地1
Tel (0894) 62-7522(代表) Fax (0894) 62-7525

